



もりおかさとこ  
森岡聡子議員

### 地域包括ケアに関する 取組を問う

**議員** 笠岡市高齢者福祉推進計画・笠岡市介護保険事業計画の中で、在宅医療介護の取組を本格化する。とあるが、今後の方針をたずねる。

**市長** 2025年には本市の高齢化率は39%と予測される。在宅医療、在宅介護の充実に向け、サービスの質の向上と保険料負担とのバランスを保ちながら進める必要がある。こうしたことから、施設介護、自立した高齢者の増加、介護の重度化予防を目標に掲げた。

**議員** 介護ポイント事業の取組についてはどうか。

**市長** 平成30年度から導入を検討している。介護予防の推進、地域の活性化や住民同士のつながりの強化等の効果を期待している。



### 地方創生施策を問う

**議員** 昨今、教育が地方創生に大きな影響を持つことが指摘されている。学校は地域活性化に貢献できる人材育成の場でもある。本市の支援策をたずねる。

**市長** 地域産業の維持発展、定住促進の観点からも可能な限り協力してまいりたい。

**教育長** 市内にある高校の魅力アップにつながる地域に根ざした教育活動に協力していきたい。

**議員** 篠坂パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置施策の進捗はどうか。

**市長** 現在、国にスマートインターチェンジの必要性を認めていただく取組を行っている段階である。



さかもときみあき  
坂本公明議員

### 市政運営に対する 考え方は

**議員** 残りの任期に対し、一番大切なものは。

**市長** 時代の流れにあったまちづくりの方向性を示す第7次総合計画の将来ビジョン「元氣・快適・ときめき・進化するまち笠岡」の実現に向けて必要な施策の一つ一つを着実に実行する1年にしたい。

### 福祉行政の取組を問う

**議員** 福祉関係の事業者は困っている人を何とかしたいとの思いで一生懸命頑張っている、そこで行政サイドには現場の切実な要望や時代の要請に対し、温かい手を差し伸べるべきと思うがどうか。

**市長** 行政として関係事業者、法人の方々と連携し全世代を対象に

地域包括ケアシステムの構築を目指す。

**議員** 知的障がいのある人の介護保険への移行は容易ではない。障がい者支援の専門性などで利用できるサービスが低下する等、支援の継続性が確保されない場合がある。そうした中、事業所が親亡き後も責任を持って最後まで支える考えを打ち出し、安心して暮らせる居場所を確保するため、新たな福祉施設を整備しようと市と折衝してきたが、この度の市の計画では、国の方針が出された後に検討するとなつている。今後、市の計画の途中であっても、国の方針が出れば検討するのか。

**健康福祉部長** 地域共生社会の実現に向け、国の方針が出たらそうした基盤整備について検討する。また、その場合には審議会を開いて意見をお聞きする。

